

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	薬価基準制度の透明化・効率化の検討のために必要な経費	事業開始年度	—			作成責任者
担当部局	保険局	担当課室	医療課			鈴木 康裕
会計区分	一般会計	上位政策	医療保険制度の推進に推進に必要な経費			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	健康保険法(大正14年法律第70号)第76条、第77条	関係する計画、通知等	「薬価制度の基本方針」(平成11年12月17日中央社会保険医療協議会了解) 「保健医療材料制度改革の基本方針」(平成11年12月15日中央社会保険医療協議会了解)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	新薬の薬価算定方式のうち、類似薬効比較方式に係る類似薬の選定は、効能・効果、薬理作用等に着目して行われているが、「薬価制度改革の基本方針」(平成11年12月17日中央社会保険医療協議会了解)に基づき、その透明化を図るため、指標に着目した既存薬の分類作業を行う。 また、特定保険材料の実勢価格と保険償還価格の間に生じている価格差の解消については「保険医療材料制度改革の基本方針」(平成11年12月15日中央社会保険医療協議会了解)に基づき、算定ルールの明確化と保険適用決定過程の一層の透明化を図るため、機能区分の見直し作業を行う。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	既に薬価基準に記載されている医薬品について、専門家からなる委員会における検討を通して、主要な薬効、主要な薬理作用、化学構造を指標として分類し、更に臨床上の使用実態(効能・効果、用法・用量等)の差異に基づき分類する。 また、特定保険医療材料の価格を算定する際の償還価格の分類となっている機能区分について、使用目的や医療上の効果などによりグルーピングの見直しを行う。					
実施状況	平成21年度は薬価及び特定保険医療材料価格の改定作業のため、それぞれの委員会を開催することができなかった。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	3	3	1	1	—
	執行額	0	0	0		
	執行率	0.00%	0.00%	0.00%		
	総事業費(執行ベース)	—	—	—		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	薬剤分類表第4版の確定に向け、計画的に事業を実施することとする。また、材料区分分類についても、計画的に事業を実施することとする。				
	見直しの余地	薬剤分類委員会及び保険医療材料に関する検討会を解散し、既存の組織(薬価算定組織・材料専門組織)において、価格の算定と同時に分類の検討をすすめることとし、本予算事業は廃止。				
予算監視の所見率化	廃止					
補記						

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載）

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0